

## 平成 27 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立淀川中学校 学校協議会

## 1 総括についての評価

学校の自己評価にも示されているように、学力の向上に課題が認められる。規律ある学校づくりについて学校全体としての取り組みが進められている。道徳教育についても研修を実施するなど、組織的な推進を図っている。運動能力については大阪市、全国平均を上回っている。教科指導・部活動については現在の取り組みを継続してほしい。

## 2 年度目標ごとの評価

## 年度目標：視点 学力の向上

- ・現在行っている学力向上に向けた取り組みを継続し、より効果的な方法を実施してほしい。
- ・課題の与え方を工夫し、家庭学習の習慣がつくようとする必要がある。
- ・基礎的・基本的な学力の習熟に努めてほしい。

## 年度目標：視点 道徳心・社会性の育成

- ・5分前行動を奨励し、規律向上に向けた取り組みは今後も継続してほしい。
- ・現在の職業講話に加え、来年度からは職業体験が実施されるそうであるが、来年度から3年間を見通した指導計画に基づいたキャリア教育が望ましい。
- ・道徳教育に関してさらに取り組んでほしい。
- ・年齢に応じた性教育や人権講話などの実施など積極的に取り組んでいる。

## 年度目標：視点 健康・体力の保持増進

- ・大阪市・全国の平均値を上回る運動能力については学校の部活動・体育活動によるところが大きいと考えられる。また、本校の地域は伝統的にスポーツ活動についての関心が高い。その点も運動能力の向上に関係していると思われる。
- ・各教科で食育や保育、さらに体の機能についての学習が実施されており、生徒の意欲関心につながっていると考えられる。

## 3 今後の学校運営についての意見

学力向上についての課題克服に向けて取り組んでほしい。生徒・保護者の部活動をはじめとするスポーツに対する期待は大きい。困難な情勢もあるが、できるだけ期待に応えてほしい。